

# WPI IIS Science Session

## “エレクトロポレーションを用いたハイスループットなゲノム編集マウスの作製法”

CRISPR/Cas9を用いたゲノム編集は、遺伝子改変マウスの作製を容易にした。しかしながら、CRISPR/Cas9システムの受精卵への導入は、マイクロインジェクション法を用いて行われており、高度な技術を必要とする。

私たちは、エレクトロポレーションを用いてCRISPR/Cas9システムを受精卵に導入することで、遺伝子改変マウスを高効率・高生存率に作製できることを明らかにした。エレクトロポレーション法は、熟練した技術を必要とせず、また、ハイスループットに遺伝子改変マウスを作成することができる。本セミナーでは、私たちが行っているゲノム編集マウスの作製法を紹介したい。



演者 国立大学法人 徳島大学  
藤井節郎記念医科学センター  
初期発生研究分野

竹本龍也 先生

日時: 2015年6月2日(火) 午後14:00-15:00

場所: 筑波大学 健康医科学イノベーション棟4F 402号室

\*本講演は日本語で行なわれます (presentation in Japanese)



お問い合わせ: 国際統合睡眠医科学研究機構  
電話: 029-853-2786 (内線. 2786)